

「歴史と出来事を学び直す」

近現代に起こった出来事を教科書やマス・メディアからの情報とは異なる視点で学び直す場となります

この講座は、今まで起こった様々な出来事に関心があり、様々な媒体から流れてきた情報に疑問を持たれている方が、その疑問に対し、背景や歴史を、一緒にネットや書籍などで探り、講師を交えて語り合う場となる講座です。

今はインターネットから多くの情報や解説、分析が得られますが、真実はどれであるのか迷います。そのため、様々な見解をもとに情報の信憑性を自分で追求していくことは重要なことです。それによってメディアリテラシーを身につけていくことができるのです。

これまでの歴史において、個人が簡単に世の中の情報を取りに行くことができることはありませんでした。そのために間違った方向に誘導されてしまうことがありました。

この講座は様々な出来事に対し、受講者に自ら考える場を作り、メディアリテラシーを上げていくことが目標です。多くの方が、メディアリテラシーを身につけることによって、自立した市民による社会が実現することにつながります。



メディアリテラシーとは

新聞、雑誌、ラジオ、テレビという既存のマス・メディアのほか、インターネットの電子メール、ウェブサイト、ブログなどの新しいメディアなどからのメッセージを主体的・批判的に読み解く能力。リテラシーというのは「読み書き能力」のことで、読む力と同時に書く力も含む。情報をうのみにせず、どんな意図で作られ、送りだされているかを自分の頭で判断すること。そしてそれを通じて自ら情報発信する力を身につけること。



第2・4日曜日 13:30~16:00

場所：大野公民館C会議室

講座運営者：田口憲二